

Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

村の観光に未来はあるのか！
問 この夏の観光客の入り込み状況はどうだったか？村は夏の観光にどんな対策を講じてきたか？今後



山本均 議員

今後の個性の違う2島を一つの旅で楽しめる取り組みが誘客につながるかと考える。関係団体と相談しながら引き続き観光振興に取り組んでいく。

答 3万2千705人が7、8月全体の入り込みで昨年に比べて114.7パーセントとなっている。まずは夏の夏ではなかったかと思う。

夏の熱気から秋の空気に入れ替わった10月14日。新島ふれあい農園にて6回目となる園芸講座「東京都エコ農産物の栽培方法でレタスを栽培しよう！」が開催された。多くの方に農業に興味を持ってもらい村の中から就農者を育てるという趣旨で、毎回30名近くの参加者

表紙は語る

が集まるほど盛況だという。当日は農薬の削減・環境負荷の低減・情報公開の方法など丁寧な説明から始まり、ビニールハウス内でのマルチシート張り・苗植え、自動灌水装置での水やりを、老若男女問わず全員で賑やかに終えた。
 (木村 諭史)



新島の前浜のにぎわい・盛夏の頃。

議会にいきかう言葉

議会が始まると議長は必ず「……会議録署名議員の指名を行います……」と行って出席議員から2名選出する。これは議会中の発言をすべて記録として残すため、正本となった2冊に議長、副議長に続き議員が連署し、正式な議事録として証明する。1冊は執行部へ送り、他は議会で保存する。

実際の作成手順は録音データを専門業者に文字化してもらい、その下書きを指名議員が精査・認定し、印刷製本となる。ところでこの議事録だが、後に誤りを見つけることがときどきある。最近の例では「……連絡船2隻は……」との記述を発見。みなさんもすぐにお気付きになったのでは？

夏季売店に期待するものは……

問

この夏に十数年ぶりに新島の前浜海岸に売店が出た。村はこれをどのように位置付け、その価値をどう見ているか？今後、村はどんな支援をどこまでできるのか村の対応を訊く。

答

観光客に喜んでもらえたことは良かったと感じている。出店者に尋ねたが、投資がある程度しているのだけれど利益がでるのは難しいが、それなりに営業できた、とのこと。海水浴客の減少や天候に左右されるリスクがある

り、村が推進するのは難しい。毎年コツコツと営業している式根島を考えると新島のみの支援は難しい、と考える。

総合戦略は無用の長物か？

問

戦略と実際の事業を具体的に明らかにしてほしい。人口増に直結する事業はどのようなものか？

答

光回線村内網整備事業、焼却場施設整備、今後取り組む災害対策事業など現在また将来的に取り組む村の全ての事業がこの戦略に関わっている。

住民公聴会の開催はどうなったのか？

問

以前約束された住民公聴会が開催された様子が見受けられない。いつごろ開かれるのか？

答

車座形式のような対話集会のほうがみなさんの本音を聴けると判断し、各団体から10月にかけて新

か、現時点での予定をお訊きする。 伺って意見や要望を聴いている。



売店はけっこう評判がよかった。

島、式根島観光協会と対話集会を開く予定でいる。

今後、町会の理解を得て各町会単位の集会を開きたい。時期は町会のみなさんと相談していく。



森田 一 議員



若郷地区に、大津波や、大雨による土砂災害時の避難施設の設置について伺う。

問 若郷地区の大津波や大雨による土砂災害時の避難施設の設置について伺う。

答 村は最優先課題と位置付けており、用地は地主の理解をえて取得できた。

今後の予定は地区住民の意見や要望を聞いたうえで三年後の32年度着工と考えている。

問 6月15日の大島支庁の説明会では若郷地域のほとんどが「土砂災害警戒区域」に指定されている。村長の答弁は村の当初の計画から大きく先送りとなっており、納得できない。

答 この件は若郷振興協議会からも要望があり、出来るだけ早く実現したいと考えている。

村としては若郷振興協議会を窓口として要



若郷の災害時の避難施設予定地。

望を取りまとめたいだけ、計画を進めていくようにする。

若郷支所長の格下げ問題と職員研修について

問

若郷支所長の格下げ問題と職員研修について伺う。

答

これまで支所長1名、職員1名の

2名で業務を行ってきたが、本年4月1日の職員異動により係長1名、職員1名、支所長は総務課長に兼務させている。

問 名目だけの支所長では緊急時に用が足りない。4年前の第一回定例会に執行部より提出された機構改革案が、議論の末、取り下げとなった経緯がある。この中で若郷支所の重要性は十分理解されたハズである。にもかかわらず今回の突然の変更には納得できない。

答 その件は承知しているが、今回の人事異動問題には少し時間を貸してほしい。

問 村長が施政方針で言っている「職員スキルアップを図るために研修所等に積極的に参加させ、住民の



各種手当の申請・支給や税の収納など、民生・税政関係の業務が多い。

答 原動力となるよう努める」との言葉は実行されているのか伺う。
職員研修所等の研修には昨年度から積極的に参加させてい
て、今年度もすでに22名が受講しており、今後も住民サービスの向上を目指して取り組んでいく。

前田 卓秀 議員



定住化体験住宅について

問 これは7月1日から始まり2ヶ月ほど経つ。これまでのデータを公表願いたい。

答 村の体験住宅は、7月13日より18日までの使用が1件、8月14日より20日までの使用が1件。合計で2件の利用実績となっている。
また9月6日現在、11月22日から27日までの使用期間で1件の申し込みがある。



安心して楽しめる石白川海水浴場。ファミリー層に人気。

今夏について

問 この夏に感じた事や反省点を伺う。

答 7月にはオープンウォータースイミング大会、中旬には東京宝島推進委員の視察、下

旬には小池都知事に夏の島の状況や島内観光施設の現状を視察していただいた。お盆明けにはプロのサーフィン大会が淡井浦海岸で開催され、それなりの来島者があったと

考えている。

交通アクセスや宿泊施設の確保、週末への集中など、課題はあるが、今後も関係団体と協議しながら誘客に努力していきたい。

木村 諭史 議員



移住希望者向け村営住宅整備について

問 各地区ごとの移住希望者向け住宅の整備状況を問う。特に式根島は観光業従事者に向けた住環境の提供が必要である。本村地区は光回線が開通した際には、本土の企業がサテライトオ

フィスを開設したいとの要望もある。

答 式根島では漁業関係者が仕事をしながら定住したり、個人宅に間借りしている人も居るよつである。若郷は漁協で漁師をしたい人を呼びたいと聞いている。本村地区ではシェアハウスなども作りたいと考えている。式根島・若郷では一軒家などを借りて住めればと思つている。少しでも早く進めたい。

問 今夏の観光総括と合わせて島アプリ利用率、来島者傾向、利用者の動向などのデータを地方創生に集約できる体制になつてゐるか？

答 島アプリのダウンロードの人数は6月が399人に対して

9月5日現在1185人と夏の二か月で約二倍になった。国別では日本が98%の利用となつており、目的の一つの多言語対応の利用は進んでいないのが現状だ。
今後は村で作成する外国語パンフレットやポスター、チラシに島アプリ利用のQRコードを掲載していきたい。

問 今夏は式根島の集客も順調であり、満室のため新島での宿泊を促したことや、にしきを含めた宿の送迎負担増加の声も聞こえてきた。7・8月のにしき利用客は毎年顕著に伸びており、およそ三千人がにしき利用による式根島観光客と推算された。新島では宿泊と夜間・雨天観光

村として式根島の観光をどのように捉えるか

を、式根島では観光集客を担うといった新しいニ島関係がある。村長の考えを問う。



新島・式根島をつなぐ連絡船にしき。

答 新島・式根島は異なつた自然条件であり、島の違いはお客様にとつて魅力的に映ると思う。送迎などは関係団体と認識を共有しつつ協議したい。各セクションで持つてゐるデータの協議も必要で、村としても橋渡ししていきたい。

にとつて魅力的に映ると思う。送迎などは関係団体と認識を共有しつつ協議したい。各セクションで持つてゐるデータの協議も必要で、村としても橋渡ししていきたい。